

コミュニティ・スクール通信

2024年2月20日(火)発行

地域連携と部活動

全道で通用するチームになる～感謝・実力・チームワーク・礼儀・あきらめない心～

令和5年度 秋季定期戦で3連勝を果たした女子バレーボール部。バレー部員は小坂谷コーチや顧問の指導のもと、さらに高みを目指すチームとして成長し続けています。



「いいよ!」「その調子!」「逃げないよ!」「構えてー」
体育館に響くコーチの声、「はい!」と体制を整える部員たち。部活動の時間で育っているのはバレーボールの技術だけではありません。ボールがコートに落ちる最後の瞬間まで、諦めずに喰らいつく姿勢、自分がどれだけつらくても頑張り、次の人が繋ぎやすい球に変えて、ボールをつないでいく気持ち。そして、「バレーができる環境に感謝し、それを行動に移すこと」を大切に、日々、練習に励んでいます。



地域連携と地域移行を進める理由

部活動における地域連携・地域移行とは、部活動において部活動指導員が指導を行ったり、地域の中学校や高校が連携し合同練習を行ったり、地域クラブに移行することをいいます。これにより、学校が主体となって指導してきた部活動を、地域と協力して行うことで、教師が勤務時間に授業研究や校務に集中でき、働き方改革を進めることができます。

地域で子供たちを育てる

現在、生徒数の減少により、好きなスポーツや文化活動ができないなどの問題があります。また、週末の引率や部活動指導が中学校教員の長時間労働の要因となり、部活動の在り方の改革が求められています。

生徒がスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会、一人一人の多様なニーズに合った部活動の保障のため、『地域で子どもたちを育てる』ことへの理解とご協力をお願いいたします。



利尻中学校では、地域連携コーディネーターと学校運営協議会(コミク)が連携し、授業の外部講師や部活動の外部コーチにご協力いただくなど、地域人材・教材を活用した豊かな教育活動を行っています。今後ともご協力の程、よろしくお願いいたします。